

ワーク用エピソード

好奇心が旺盛な1年生のハルトくんは、お母さんやお父さんがすることを何でもまねたがります。この日も、お母さんの沙織さんが朝ごはんを作っているのを見ると、「お手伝いしたい」と言い出しました。そこで、沙織さんは内心では「急いでいるのに」と思いながら、ハルトくんにお手伝いをさせてもらうことにしました。

ところが、ハルトくんは卵を割る際に卵の殻を一緒にボールに入れてしまったり、ボールの中身を強くかき混ぜすぎて周りに飛び散らせてしまったりと失敗ばかりしてしまいます。



ワーク1 エピソードのように、子どもがお手伝いをしたものの失敗してしまったという経験はありますか。そのときどのように接したか（なければ想像して）書いてみましょう。

ワーク2 お子さんはどんなお手伝いをしていますか。また、お手伝いができるようになったきっかけは何ですか。



ワーク3 お子さんがお手伝いを続けられるようにするためには、どんな工夫が必要だと思いますか。



MEMO

